

学級経営

好ましい人間関係を育てる学級経営の在り方

～第3学年における小さな成功体験の積み重ねを大切にした教育実践を通して～

笠間市立宍戸小学校
教諭 中山 光一

成 果

- 1 平成25年度県学力診断テスト全教科 対県比42.4向上
(国語科+12点 社会科+10.5点 算数科+11.4点 理科+8.5点)
- 2 縄跳びチャレンジランキング 398回(県第七位)
- 3 Q-Uテスト「学級生活満足群」83.4%

取組のポイント

- ① 学級を児童にとっての心の居場所にする!!
 - ・友達の良さを見つけて、友達に分かる言葉、態度で相手に伝える授業
 - ・お互いに協力し合い、友達の身になって考え行動できる生活
 - ・自分の力を学級に生かし、役立てようとする姿勢
- ② 学級全体の共通目標をみんなで話し合い、設定し、努力して達成する過程を繰り返す!!
 - ・小さな壁を学級全員で乗り越えていく成功体験
 - ・成功体験で得る自信を基にして、さらに大きな目標を設定し達成していくサイクル

学級経営改善のねらい

学校生活全体を通して、小さな成功体験を積み重ねることによって、好ましい人間関係を育てる。



年間の指導計画

時期	時 間	実 践 内 容
年間	朝の会	P D C A サイクルを用いた学級（生活班）の目標設定
4 月	学級活動	「話をする」, 「話を聞く」ためのソーシャルスキルトレーニング
5 月	ロン昼	対人関係ゲーム「ジャンケン列車」「人間ボウリング」
5 月以降 毎月末	国語科 算数科	月例テストの対策：漢字練習及びミニテスト 月例テストの対策：計算練習及びミニテスト
1 1 月	学級活動 国語科	グループ・エンカウンターの手法を生かした遠足の振り返り 校内要請訪問最終発表「もうどう犬の訓練」
1 2 月	学級活動 各教科 体育	グループ・エンカウンターの手法を生かした市提案授業 学力診断テスト受験準備 1 4 0 周年記念式典学年発表準備「ダンス&応援合戦」
1 月	体育他	長縄チャレンジランキング
3 月	学級活動 学級活動	6 年生を送る会学年発表練習 1 年間の振り返りと来年度への抱負

学級経営改善の実践

「話をする」, 「話を聞く」ソーシャルスキルトレーニングの実践

① ねらい

自分の気持ちや考えを友達に伝えたり, 友達の話真剣に耳を傾けたりすることがすべての礎になると考えた。そのため, 「話をする」・「話を聞く」スキル学習を4月に行い, 今後の学校生活に自分の気持ちや考えを上手に友だちに伝えたり友だちの意見に心を込めて耳を傾けたりする態度を養うことをねらいとした。

② トレーニングの手順（「話をする」ことを例にとって）

- ア 話をすることで気を付けることは何かを話し合う。
- イ 話合いで出た意見を教師が集約し, 板書する。



- ウ 二人一組で「話し手」、「聞き手」の役割分担をし、板書したことを意識しながら話をする。(最初は20秒程度とし、徐々に時間を長くする。最大1分)
- エ 話し手の良かった点を聞き手が伝える。(20秒程度)
- オ 役割交換する。その後ペアを変えて同様のことを行う。
- カ 話をすることで大切なことをまとめ、今後の生活に生かすよう指示する。

PDCAサイクルを用いた学級の目標づくり



目標づくりの手順

- ① PDCAのサイクルは一週間とし、毎週月曜日の朝の会で学級と生活班の目標を話し合わせる。
- ② 話し合った内容を色画用紙に班全員の児童が協力して書き、掲示する。
- ③ 班で話し合ったことを班の代表者が学級全員の前で発表し、意見を交流する。
- ④ 学級全体の週の目標を設定し、実行していく意欲を高める。

指導のポイント

- 自分たちが決めた約束なので、必ず守るよう努力することを繰り返して児童に伝える
- 約束を守れたら、必ず児童をほめる。
⇒児童をほめる言葉ベスト3
「すごいね。」「さすがだね。」「すばらしいよ。」

週目標の具体例

- ・「授業中、手を挙げる回数を各班で 600 回以上にする。」
- ・「月例テストのクラスの平均点を国語 96 点，算数 90 点以上にする。」
- ・「長縄を今週中に 400 回いけるように集中してがんばる。」

グループ・エンカウンターの手法を生かした話し合い活動（市提案授業より）



- 話し合いの内容：2学期の振り返りと3学期の目標設定，楽しい学級生活を送るための生活の仕方，学習方法など
- 話し合いの様子：市の要請訪問で，多くの参観者がいる中，児童は堂々と自分の考えや気持ちを伝えることができた。児童は友だちが頑張っているようになったことなどを互いに認め合い，友達と一緒に目標を立て，それに向かって努力をすれば，大きな自信になることを自分たちの言葉で分かち合っていた。

学習内容・活動	指導上の留意点・評価
(4) 本時のねらい 2学期の学校生活で「学力向上」「豊かな心」「健やかな身体」などに関連する取り組みを振り返ることによって，これまでの成長と課題を確認するとともに，関連する新たな目標を児童一人ひとりが設定し，自己を成長させようとするためのよい生活や学習の仕方などについて理解しようとしている。 (2) 準備・資料 電子書籍，DVD，ワークシート，ストップウォッチ (3) 本時の展開	・できるだけ両を認めて褒めるよう指示する。 ・カーテンで遮光し，見やすい環境をつくる。 ・学習課題の目的・方法・留意点を説明する。
1 2学期の児童の活動の様子わかるDVDを視聴する。 2 本時の学習課題を確認する。 「どんな『できる』が増やせたか，どんな『できる』を増やせるか」	・話し合う場を指定するとともに，コメントをもらう児童を指名したした三角形の形を作って話し合い活動を行うよう指示する。 ・予想されるコメント内容を3段階で例示し，話すことが苦手な児童が円滑に活動できるような雰囲気を作る。
3 構成的グループ・エンカウンターの手法を用いて話し合い活動を行う。 (1) 席替え前の生活正ごとになり，2学期に「どんな『できる』が増やせたか」について友達からコメントをもらい合う。 (2) 席替え後の生活正ごとになり，(1)と同様の活動を行う。	・一人あたりへのコメントの時間を90秒とし，できるだけ具体的な出来事を変えてコメントし，時間内で発表し終わる児童全員がコメントし終わるよう指示する。 ・コメントに戸惑っている児童や活動と全く違った内容を書いている児童がいたらその場で指導する。
(3) 現在の生活正ごとになり，①「前(々)生活正の友達は自分の『できる』をどう見てくれたか」，②「コメントを聞いた自分はどのような思いをもったか」について発表しあう。	・一人あたりの目標設定時間を2分とし，生活正の友達へのコメントや発言を参考にし，具体的に達成可能な『できる』を見出すよう指示する。また，今回の『できる』を「もってできるようにするために必要な条件は何かについても議論させる。 ※2学期の成長と課題を確認したり具体的に新たな3学期の目標を設定したりしながら，自己を成長させようとするためのよい生活や学習の仕方などについて理解しようとしている。(知識・理解) (態度)
(4) 生活正の友達の手を借りて3学期の「どんな『できる』を増やせるか」について目標を設定する。	・本時の流れに沿って自分の感情がどのように動いていたのかについて互いに確かめるとともに，発言が興奮に終わるのではなく友達同士で関わり合いながら話し合うよう指示する。
(5) これまでの活動を振り返って気づいたこと，感じたことを学年全体で分かち合う。	・本時の学習で頑張ったことをお互いに褒め合い，認め合うとともに，今後の学校生活がより充実して進めるような言葉がけを友だちにするよう指示する。
4 教師のまとめを聞く。 5 タルゲダウンとして席手を交えたニクササイズ「自由参加・これからはがんばろうね」を行う。	・本時の学習で頑張ったことをお互いに褒め合い，認め合うとともに，今後の学校生活がより充実して進めるような言葉がけを友だちにするよう指示する。

Q-Uテストの実施と分析結果の実施

Q-Uテストを年に2回実施し，児童の「学級満足度」を調査した。

その結果，「学級満足群」は71%から83%に向上し，自分の存在や行動が友達や教師から認められていると自信をもつ児童が増えた。

